

みなとのニュース

港湾空港関係功労者を表彰！ ～海をきれいにするための一般協力者大臣表彰伝達式及び 北海道開発局港湾空港関係功労者表彰式を開催～

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

国土交通省では、毎年「海の日」に、多年にわたり海事関係事業等に貢献された方々に対して大臣表彰を行っています。

今年度の北海道開発局関係では、「海をきれいにするための一般協力者」として、石狩湾新港内において多年にわたる清掃活動を行い、港内の環境美化に貢献したことが認められ、「石狩湾新港企業団地連絡協議会」が受賞されました。

また、北海道開発局では、港湾空港整備事業の推進を目的として「北海道開発局港湾空港関係功労者表彰」を平成18年から行っており、今年度は前利尻町長の保野洋一氏及び株式会社菅原組(函館市)の菅原修代表取締役の局長表彰が決定され、7月20日(火)に札幌第1合同庁舎において表彰伝達式が大臣表彰と合同で開催しました。

式では、北海道開発局魚住港湾空港部長から表彰状等が授与され、その功績を讃えるとともに、改めて感謝を表す挨拶がありました。

各受賞者の皆様からは、これまでの清掃活動や港湾整備事業に携わってきた業績等を振り返るとともに、関係者の方々に対する謝辞等が述べられました。



表彰伝達式の模様



前列左から菅原氏、保野氏、魚住港湾空港部長、石狩湾新港企業団地連絡協議会阿部会長

増毛港屋根付き岸壁での高品質なサケ輸出の取組が開始

留萌開発建設部 留萌港湾事務所

増毛港屋根付き岸壁は、地域主体の供用式典を7月17日に開催し、農水産物輸出促進基盤としてスタートしました。屋根付き岸壁は延長90m、エプロン幅15.5m、屋根幅13m(軒高さ4m)で、船舶が3隻同時に陸揚げ作業が可能です。ここで取り扱われる水産物のサケやナマコは輸出産品として、中国や東アジアへ輸出されます。

従前、輸出産品のサケは、屋根のない岸壁での選別

や積み込み・搬出を行っており、鳥の糞や、異物混入や直射日光により、魚の品質低下が課題でした。この課題に対応するため、留萌開発建設部はハード対策として、既設物揚場の老朽化対策に併せて屋根付き岸壁を整備しました。一方ソフト対策として増毛漁協は、衛生管理マニュアル策定や滅菌海水装置、製氷施設の導入を図り、水産物の商品価値を高める取組を行っています。



増毛港航空写真(丸囲み)



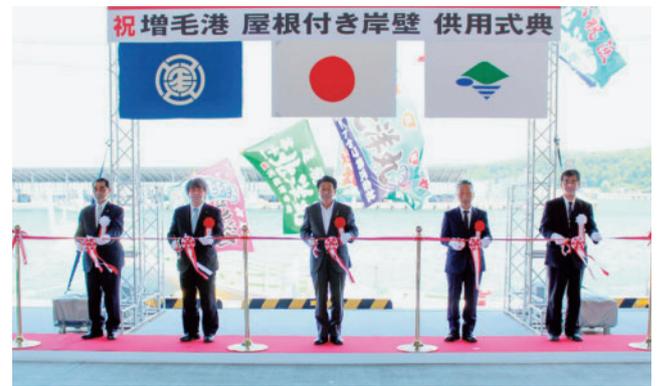
供用した屋根付き岸壁

9月4日からサケ定置網漁業(定置網5系統、3経営体)の操業が開始、屋根付き岸壁での陸揚げ作業がスタートしました。屋根下にはサケ選別台や計量器、品質別に分類する氷タンクが置かれ、総勢15名の漁業者でサケの選別作業・搬出が行われています。

利用者からは、屋根付き岸壁のおかげで、日射や降雨、選別台やタンクへの鳥の糞がなく、衛生的に魚を取り扱うことができる。我々漁業者の労働環境も改善され、作業効率の向上も期待できる。という意見を頂き、その効果を検証する調査も実施しています。

サケ定置網漁業は10月下旬から本格操業となります。地域が待ち望んだ連携水揚港の増毛港から高品質な水産物を海外へ輸出する取組が始まります。これにより北海道の水産物の国際競争力が向上し、さらなる輸出促進が期待されます。

令和3年7月17日 供用式典のようす



左から、堀町長、神谷衆議院議員、稲津衆議院議員、西野組合長、村山開建部長

令和3年9月23日 サケ陸揚作業のようす



令和3年9月23日 サケの選別作業のようす

